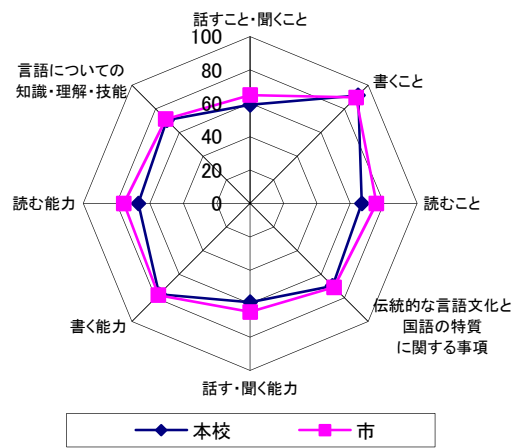


宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	59.1	64.9	69.8
	書くこと	91.5	89.8	81.9
	読むこと	66.9	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.8	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	59.1	64.9	69.8
	書く能力	77.0	77.7	73.7
	読む能力	66.9	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	70.5	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

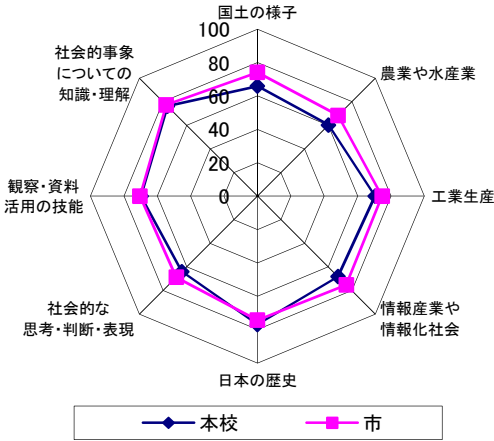
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均より5.8ポイント下回った。 ○話し合いの内容を聞き取る設問の正答率は9割となっている。 ●議題からそれた発言があった場合に、司会者としてどのような注意をしたらよいかを記述する設問では正答率が4.5%と非常に低い。司会者の役割を理解し計画的に話し合いを進めるための力が育っていない。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・再度、教科書で話し合いの仕方や司会者の役割等について確認をし、今後学級で話し合いを行う際に、実際の話し合いを通して一人一人に考えさせるよう指導の充実を図りたい。
書くこと	平均正答率は、市の平均より1.7ポイント上回った。 ○2段落構成で文を書くことについては正答率が90.9%となっており、市の平均を9ポイント上回っている。自分の意見を理由を挙げて述べることも正答率が9割を超えており、作文のみならず発表等においても指導してきたことが成果として表れていると考えられる。	・書くことについては学年相応の力が育っていると思われる。今後も文の構成や効果的な表現などを意識させながら、作文指導を継続したい。
読むこと	平均正答率は、市の平均より8.7ポイント下回った。 ○物語文、説明文ともに基礎問題についての正答率は約77.3%となっており、市の平均と大きな差はない。 ●活用問題における正答率は市の平均を大きく下回る。特に2つの意見文を読み比べる設問においては、グラフと文章の内容を結び付けて記述する問題で正答率が34.1%、2つの意見文から書き方の類似点を探す問題においては40.9%となっている。	・文章を読み比べて、文章の構成についてまとめたり、類似点や相違点について考えたりする活動に取り組みたい。文章を読むときに、構成に目を向け、文や資料から得られる情報を整理しながら読むということを意識づけるよう声かけを工夫したい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、市の平均よりも1.2ポイント下回った。 ○漢字の読み書きについては、市の平均より上回っているものが多い。宿題での取組みや毎時間のミニテスト等の成果が表れていると思われる。 ●主語・述語がどれかを答える問題の正答率は低く市の平均を大きく下回った。文の構成についての理解が不十分である。	・文章を書くときにも、主述の関係を意識して文を書くことには課題が見られる。誤った文を意図的に取り上げて全体で考えたり、作文等では書き直しをさせたりすることを通して、主述の関係を意識して文を書いたり読んだりできるよう指導の充実を図りたい。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	65.9	74.1	72.5
	農業や水産業	60.2	68.4	61.6
	工業生産	70.5	74.7	68.2
	情報産業や情報化社会	68.2	75.3	74.0
	日本の歴史	76.9	74.4	69.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	64.0	68.7	64.2
	観察・資料活用 の技能	69.7	70.3	68.1
	社会的事象についての知識・理解	76.2	77.3	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

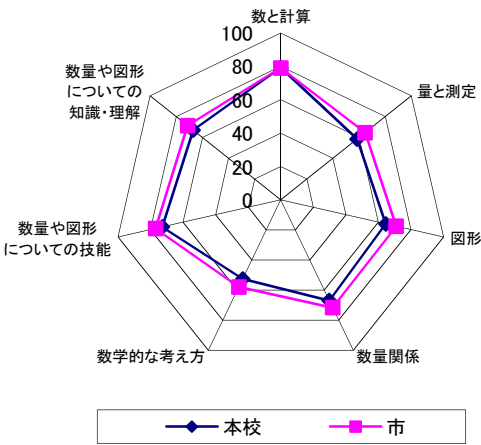
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	平均正答率は、市の平均より8.2ポイント下回った。 ●地図上に示された太平洋の名称を答える問題では正答率が77.3%である。誤答は「日本海」との解答が多い。日本周辺の海洋について理解が不十分である。 ●日本海側の気候のグラフから該当する地域を答える設問においては正答率が31.8%と市の平均を6.9ポイント下回った。日本の気候の特徴について理解が不十分である。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・5学年で学習した内容である。学習プリント等を使い復習をし、日本の国土の様子について確認をしておきたい。
農業や水産業	平均正答率は、市の平均より8.2ポイント下回った。 ○米の品種改良について資料から判断する設問では正答率が81.8%で、市の平均より5.2ポイント上回った。 ●米作りに向いている地域の特色について考える設問では正答率が50%と市の平均を24.3ポイントも下回った。また、どうもろこしに関する複数の資料をもとに考察する問題でも正答率が非常に低い。資料を読み取り考察する力が十分に育っていない。	・5学年で学習した内容である。既習の知識や資料をもとに考察する問題でのつまづきが見られるので、学習プリント等で復習し、日本の食料生産について確認をしておきたい。
工業生産	平均正答率は、市の平均より4.2ポイント下回った。 ○自動車生産の工程に関する設問では正答率が95.5%となっており市の平均を2.8ポイント上回った。 ●日本の工業地域の特色について資料から読み取る設問については正答率が45.5%と低く11.3ポイント市の平均より下回った。資料から必要な情報を的確に読み取る力が不十分である。	・5学年で学習した内容である。資料に示されている複数の情報を的確に読み取ることに課題が見られた。地図等の資料を読み取る学習をプリント等で行い、日本の工業生産や工業地域について確認をしておきたい。
情報産業や情報化社会	平均正答率は、市の平均より7.1ポイント下回った。 ●情報の利用の仕方について問われる問題では正答率が72.7%で10.6ポイント市の平均を下回った。情報の利用についての基本的な知識について課題がある。 ●情報ネットワークについて問われる問題においても正答率は63.6%で理解が不十分である。	・5学年で学習した内容である。情報の利用に関しては、道徳や学級活動等も関連させ、再度確認をしたい。
日本の歴史	平均正答率は、他の領域より高く、市の平均を2.5ポイント上回った。 ○縄文時代から室町時代、明治・大正時代に関しては、ほぼ全ての設問で市の平均を上回り高い正答率になっている。 ●江戸時代の海外との貿易の統制について記述を求められた問題については、正答率が36.4%と低く市の平均を20.4ポイント下回った。	・歴史の学習には高い関心を示し、意欲的に学習に取り組んできたので、その成果が表れていると思われる。正答率の低かった江戸時代の海外との貿易については、問題をやり直すことで確認をしておきたい。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	79.2	79.0	78.9
	量と測定	58.4	64.6	66.2
	図形	64.5	70.9	77.8
	数量関係	66.9	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	52.5	57.8	54.8
	数量や図形についての技能	72.8	76.9	75.2
	数量や図形についての知識・理解	67.0	71.3	75.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

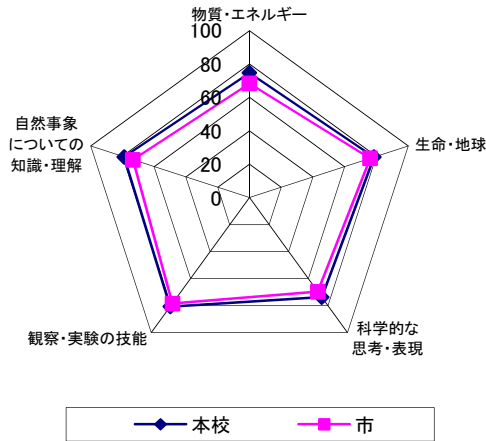
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。 ○分数や小数の計算では、正答率がほぼ8割を超え、市の平均を上回っているものが多い。毎日基本的な計算についてのプリントを宿題として課しているので成果に現れていると思われる。 ●図から文章問題に合う分数の除法の式を選択する問題においては正答率が45. 5%で市の平均を6. 7ポイント下回った。分数の除法の意味についての理解が不十分である。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・基本的な計算については引き続き宿題プリントを課すことで、忘れないよう指導を継続したい。 ・分数の計算の意味については、この問題をやり直すとともに、数直線で表された2つの数量の関係について言葉で説明する活動を取り入れ確認をしたい。
量と測定	平均正答率は、市の平均より6. 2ポイント下回った。 ○平行四辺形、台形の面積を求める問題ではどちらも正答率が市の平均を上回った。 ●「速さ」に関する設問では、市の平均を下回った。特に、分速を時速に直す問題では正答率が36. 4%と低く市の平均を14. 8ポイント下回った。「速さ」についての基本的な内容の理解が不十分である。	・速さ・時間・道のりの関係について、再度確認するとともに、秒速・分速・時速の関係についても確認をしたい。また、定着を図るために授業において復習の時間を設け、問題に取り組ませたい。
図形	平均正答率は、市の平均より6. 4ポイント下回った。 ○五角形の内角の和を求める問題においては、市の平均を3. 5ポイント上回った。 ●平行四辺形が点対称であることを選ぶ設問では正答率が63. 6%で市の平均を7. 7ポイント下回った。点対称及び平行四辺形の性質について理解が不十分である。 ●円周を求める設問で正答率が36. 4%と非常に低い。残りの児童は全員、円の面積を求める式を選択している。公式についての確認が必要である。	・いろいろな図形の性質について、再度確認をし、きちんと整理して理解させるようにしたい。 ・円について、円周を求める公式と面積を求める公式がきちんと理解できていないという実態が浮き彫りになった。授業の中でもう一度確認し定着を図りたい。
数量関係	平均正答率は、市の平均よりも4. 7ポイント下回った。 ○比例の関係を式に表すこと、円グラフを読むことについては、いずれも正答率が100%となっており、きちんと理解されていることがわかる。 ●円グラフから読み取った割合をもとに比較量を求める設問では正答率が54. 5%と低い。グラフを活用することに課題が見られる。 ●必要な情報を読み取り、比を利用して解決する設問では正答率が31. 8%と非常に低い。学習したことを活用する力が十分に育っていないことがわかる。	・基礎的な知識や技能を問う問題においては、正答率は低くはないが、知識や技能を活用する問題になると正答率が非常に低くなる。この問題をやり直すとともに、必要な情報を読み取り活用する問題や、実際の生活の中で算数の知識を生かす問題に多く触れさせ、総合的な算数の力を身に付けさせるよう努力したい。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	74.7	68.3	68.1
	生命・地球	78.5	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	73.7	69.7	68.0
	観察・実験の技能	80.8	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	79.0	73.4	73.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は、市の平均を6.4ポイント上回った。 ○「水溶液の性質」では、全ての設問において市の平均を上回った。実験をしながら学んだことが知識として定着していることが分かる。 ●「ふりこのきまり」で実験の条件を記述する問題では正答率が市の平均を7.7ポイント下回った。実験の目的に応じた条件制御について課題が見られる。 ●「物の燃え方」でろうそくの火が消えた原因について、5割の児童が「二酸化炭素の割合が大きくなった」と解答した。物が燃えるときに酸素が必要であることについて正しく理解できていないことが分かる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・多くの設問で正答率が高く、これまでの学習内容がしっかり身に付いていると思われる。正答率の低かったいくつかの設問については見直しをさせ、なぜ間違えたのかについて確認をしておきたい。
生命・地球	平均正答率は、市の平均を2.5ポイント上回った。 ○「月と太陽」では、全ての設問において市の平均を上回った。月の満ち欠けと太陽の位置との関係についてきちんと理解されていることが分かる。 ●「植物のつくりとはたらき」における植物の葉のでんぷんをつくるはたらきと日光の関係を調べるための対照実験の意味や、ヨウ素デンプン反応の結果からでんぷんができた葉を選択する問題については正答率が低い。理解が不十分であると考えられる。	